地道な活動をたたえ
県内6団体など表彰
中日福祉ボランティア賞

第十二回中日福祉ボランティア賞の贈呈式が十六日、名古屋市中区の中日新聞社であった。県内からは、健常者と障害者が一緒に演奏を楽しむ「音楽サークル　ドラむす」（名古屋市中川区）など六団体が選ばれ、中日新聞社会事業団理事長の小出宣昭・中日新聞社長から、盾などが贈られた。

地域に根ざした福祉活動を行うボランティアを毎年表彰しており、今年は岐阜、三重県も含め八団体を表彰した。式典で小出社長は「身の回り以外の人の命や生活を、自分のこととして受け止めるのは、人間にしかできない行動。表彰と新聞への記録を続ければ、ますます広がると確信している」とあいさつした。

ドラむすの松田美和代表（三〇）は「受賞できたのは、長年応援して育ててくれた人たちのおかげ。音楽を通じて障害のある人が社会に出やすくなるよう、交流の輪をもっと広げたい」と感謝した。

◇そのほかの県内の受賞団体　昭和区の福祉まつり実行委員会（名古屋市昭和区）▽高齢者アート「風の実」（小牧市）▽トヨタ記念病院ボランティアみつわ会（豊田市）▽グループ一二三（大府市）▽海の子文庫（美浜町）

中日福祉ボランティア賞を受賞した県内のみなさん＝中日新聞社で